

国立大学法人北海道大学大学院歯学研究院口腔機能解剖学教室助教の公募について

このたび、本研究院では口腔機能解剖学教室の助教を公募することとなりました。主として、口腔解剖学や口腔組織・発生学に関する研究・大学院生への指導などに従事していただくとともに、解剖学・口腔解剖学の講義と実習、及びご遺体処置を含めた献体管理に従事していただきます。任期は5年ですが、審査を経て無期雇用となることが可能です。

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進、男女共同参画推進に努めており、女性の積極的な応募を歓迎します。

公 募 要 領

I. 応募資格

1. 採用日までに博士の学位を有していること
2. 専門分野に関して優れた研究業績を有していること
3. 研究・教育及び教室運営等を積極的に、かつ周囲との協調性を保って行えること
4. 授業（大学院科目・学部科目）を担当する能力を有していること
5. 系統解剖実習の経験を有していることが望ましい

II. 応募書類

1. 履歴書（別紙様式1）
2. 教育等の業績
3. 研究業績目録
4. 主要論文別刷
5. 研究助成金の受領状況
6. 共同研究等の実施状況
7. 本職へ応募した動機、研究についての考え
8. 選考に際し所見を求めることができる方2名の氏名及び連絡先（電話番号及びメールアドレスを含む）

（応募書類の作成に際しては、別紙記載上の注意事項を参考にしてください。）

III. 応募締切 令和3年7月30日（金）必着

IV. 提出先

〒060-8586

札幌市北区北13条西7丁目

北海道大学歯学事務部庶務担当

電話 011-706-4313（直通）

※ 応募書類は書留とし、封書表には「口腔機能解剖学教室助教応募書類在中」と朱書願いま

す。

なお、ご送付いただいた書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。また、ご送付いただいた書類等は本選考以外には一切使用いたしません。

V. 照会先

口腔機能解剖学教室 教授 山本 恒之
電話 011-706-4219 (直通)
電子メール yamatsu@den.hokudai.ac.jp

VI. 採用予定時期

令和3年10月1日以降のできるだけ早い時期

VII. 待遇

1. 任期の定め あり（5年。ただし、業績審査により、任期の定めのない助教へ移行することができる。）
2. 試用期間 あり（3ヶ月）
3. 給 与 国立大学法人北海道大学職員給与規程又は
国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による
4. 勤務形態 専門業務型裁量労働制を適用
※1日に7時間45分労働したものとみなす
5. 健康保険等 文部科学省共済組合，厚生年金，労災保険，雇用保険加入

VIII. 募集者の名称 国立大学法人北海道大学

IX. 受動喫煙防止措置の状況 特定屋外喫煙場所を除き，敷地内禁煙

X. その他

選考の過程において、オンラインあるいは対面で面接をお願いする場合があります。

記載上の注意事項

<用紙はすべてA4版縦とする>

1. 履歴書

- 1) 年齢欄には、令和3年4月1日現在の年齢を記載すること。
- 2) 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記載すること。
- 3) 学位欄には、() 書きで授与された大学名を併記すること。
- 4) 職歴欄には、所属の講座等も記載すること。
- 5) 留学欄には、期間、受入施設名、国名、身分を記載すること。
- 6) 受賞等欄には、学会賞等の受賞について記載すること（本人筆頭のものに限る）。
- 7) 所属学会欄には、学会名及び役職名等を記載すること。

2. 教育等の業績（下記の項目に該当するもの）

学生および大学院生に対する講義、実習および研究に関する指導がある場合は、記載すること。

3. 研究業績目録

以下の順序で記入し、1) から7) の各項目別に通し番号を付すこと。また、記載はすべて年代順とし、本人の名前に下線を引くこと。

1) 著書

① 編著者の場合

編著者全員の氏名、発行年（西暦）、書名、発行社名、発行地、総ページ数の順序で記載すること。

② 分担執筆の場合

分担執筆者全員の氏名、発行年（西暦）、分担執筆部分のタイトル、編者名、書名、発行社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）の順序で記載すること。

2) 原著論文

著者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発行年（西暦）、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（始めと終わり）の順序で記載すること。また、原著論文のうち、レフリー制度をもつ論文については、通し番号を○印で囲むこと。さらに、英文原著論文については、発行時の **impact factor** および応募時点での **citation index** を、() 書きで最後に付記すること。

印刷公表されていない論文については必ず掲載証明書を添付すること。また、シンポジウムや **Proceeding** などの論文は3) に記載すること。

3) 総説・速報・その他の論文（商業誌等）

前記2) に準じて記載すること。

4) 特別講演・シンポジウム等

これらはすべて筆頭演者として招待されたものに限る。発表者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発表年（西暦）、発表タイトル、学会名等（抄録誌、巻、ページ）

の順で記載すること。

5) 主な国際学会発表

筆頭演者として発表したものに限り、前記4)に準じて記載すること。共同演者として発表したものについては学会名と数のみ記載すること。

6) 主な国内学会発表（最近5年間、平成28年4月以降のもの）

筆頭演者として発表したものに限り、前記4)に準じて記載すること。共同演者として発表したものについては学会名と数のみ記載すること。

7) 特許等

取得済・出願中の別を記載すること。

4. 主要論文別刷（主なもの3編以内、電子複写でも可）とその要旨

別刷を提出する主要な論文（3編以内）について、著者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発行年（西暦）、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（始めと終わり）の順序で記載し、その後にそれぞれ200字以内の要旨を添付すること。

5. 研究助成金の受領状況（これまでに受領したものすべて）

これまでに受領した科学研究費補助金等の研究助成金の受領状況について、受領年度（期間）、研究助成金の名称、課題番号、研究課題名、受領金額、代表・分担の別を記載すること。

6. 共同研究等の実施状況（これまでに実施したものすべて）

これまでに行った学外・学部外施設との共同研究の実施状況について、実施年度（期間）、共同研究施設名、共同研究課題、応募者の役割分担（簡潔に）を記載すること。

7. 本職へ応募した動機、研究についての考え

本職に応募した動機や自己アピールを記載すること。これまでに身につけた実験手技及び今後行いたい研究について、並びに目指したい解剖学教育についてなどを合わせて2000字以内で記載すること。

以 上